

新しい時代に挑む

自然災害などから市民の生活を守るほか、人口減少や少子化の克服に向けた「こども施策の充実」、ニューノーマルに対応した「デジタル化の加速」など、新しい時代に挑みます。

少子化対策と子育て環境の充実

子ども医療費無料化を18歳まで拡大

令和5年12月から子ども医療費助成の対象年齢を18歳の年度末まで拡大し、子育て家庭の経済的な負担を減らすほか、病気の早期発見や治療を支援します。

妊娠・出産を支援

出産や育児の不安を減らし、安心して子育てができる環境を整えるため、相談、訪問指導、健康教室などを行うほか、「すくすく・サポート」で、保健師などが全ての妊婦と面談して、産前・産後をサポートし妊娠期から切れ目なく支援します。また、妊娠や出産・育児の相談ができる機会を増やすなど、妊娠届出時から、妊婦や子育て家庭に寄り添い「伴走型相談支援」を充実します。



ヤングケアラーの支援体制を強化

専門の相談窓口を設け、ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、相談対応や学校などの関係機関と連携し、ヤングケアラーの早期発見と適切な支援につなげます。また、ヤングケアラーの負担軽減につながる公的サービスの利用調整や家事援助ヘルパーの派遣などを行います。

交通の利便性向上とまちの賑わい創出

松山市駅前広場整備

公共交通の利便性を高め、中心市街地ににぎわいをつくるため、令和8年秋の完成を目指して市駅前広場を整備します。また、安全な歩行空間の確保と良好な景観の維持のため、市役所第4別館前に立体駐輪場を整備します。



「こども本の森 松山」を整備

坂の上の雲ミュージアムに「こども本の森 松山」がオープンしました。未来を担う子どもたちのため、本に親しんでもらえる「お気に入りの場所」になることを目指します。

経済の活性化と雇用環境の整備

スタートアップ支援を強化

社会課題を解決しながら経済活性化をけん引し、急速に成長することで、多くの雇用を生み出すスタートアップを創出します。スタートアップと連携し市内企業が持続的に成長するため、総合サイトを立ち上げるなど、学生の起業や市内企業とのマッチングを支援します。



人材の確保や育成に 取り組む企業を支援

人材不足や物価高騰など厳しい経営環境の中でも、人へ投資し、成長しようとする企業を後押しするため、大切な経営資源である従業員の確保や育成を支援します。

安全・安心で持続可能なまちづくり

ゼロカーボンシティ 松山の実現

太陽光発電や蓄電池システムなどの設置、電気自動車や燃料電池自動車の導入に補助するなど、暮らしの脱炭素を進めています。これらにより、市内の二酸化炭素排出量を削減し、2050年に温室効果ガス排出量「実質ゼロ」社会を目指します。

ふれあい収集

市内全域でごみ出しが難しい高齢者などを対象に、自宅前まで市職員が訪問してごみを収集する「ふれあい収集」を行っています。ごみ出しの負担を減らすほか、必要に応じて声掛けし、孤立化を防ぎます。



子育て世帯の 移住促進

子育て世帯の移住を促すため、県外から移住する人の引っ越し費用の一部を補助しています。また、子育て世帯で移住を検討している人へ、積極的に情報を発信し、子育て世帯から「選ばれるまち」を目指します。

より優しく より強い まつやまへ

～一人でも多くの人を笑顔に～

松山市には、3千年の歴史があり日本最古といわれる道後温泉や、現存する12天守の1つの松山城など歴史的な資源をはじめ、俳句やことば文化、豊かな自然など、先人たちが残してくれた多くの「たから」があります。こうした「たから」を市民の皆さんと一緒に磨きながら、新しい魅力づくりに取り組んでいます。

国の重要文化財の道後温泉本館は、明治27年の改築から130年を迎え、令和6年、保存修理工事を経て約5年半ぶりに、全館での営業を再開しました。また、昨年10月から「蜷川実花 with EiM × 道後温泉 DOGO ART」を開催し、道後の魅力を全国に発信しています。

今年は、小説『坊っちゃん』発表から120年です。これを機に、夏目漱石と正岡子規が52日間ともに暮らした「愚陀佛庵」を再建し、令和8年夏頃、俳句甲子園開催までにオープンします。「文学のまち」「俳都松山」の象徴になると期待しています。

松山市駅前の再開発は、バスの乗降場を集約するほか、路面電車の電停や線路を移設して乗り継ぎが便利になりました。いよいよ今年秋に交流広場が完成します。花園町通りと銀天街をつなぎ、一日約3万人の乗降客が行き交う、市内最大の交通結節点です。新しい賑わいを創り出し、中心市街地をさらに活性化します。

松山市長 **野志克仁**



Home to historical treasures such as Dōgo Onsen, said to be the oldest hot spring in Japan with a history of 3,000 years, and Matsuyama Castle, one of Japan's 12 remaining castle towers, Matsuyama City also possesses invaluable legacies of haiku, language culture, and abundant nature, left to us by our predecessors. By fine-tuning these "gifts" with you, the people of Matsuyama, we are working to create fresh appeal.

The Dōgo Onsen Honkan (Main Building), a nationally designated Important Cultural Property, is celebrating its 130th anniversary since its reconstruction in 1894. After undergoing preservation and repair work, the entire building reopened for business in 2024 after a five-and-a-half-year blank, and is currently hosting the Mika Ninagawa with EiM × Dogo Onsen DOGO ART, an event that started in October last year showcasing Dōgo's appeal nationwide.

This year marks 120 years since the famous novel Botchan was published. To commemorate this occasion, Gudabutsuan, where Sōseki Natsume and Shiki Masaoka spent 52 days together, is being reconstructed. It will open this summer, in time for the Haiku Koshien competition, and is sure to symbolize Matsuyama, the City of Literature and Haiku Capital.

As for redevelopment at Matsuyama City Station, bus stops have been consolidated and tram stops and tracks relocated, to make transfers easier. The long-awaited completion of the Kōryū Plaza this fall will connect Hanazonochō-dōri Avenue and Ginten-gai area to become the city's largest transportation hub with daily passenger traffic of approximately 30,000, creating new vitality and further invigorating the downtown area.

Katsuhito Noshi
Mayor
City of Matsuyama

市長公約

《 3つの取組姿勢 》

- ① 感染症や自然災害などさまざまな困難から「市民の暮らしを守ります」
- ② 「現地・現場」を大切に、「市民目線」を大切に「市民が主役のまちづくりを進めます」
- ③ ウイズコロナ、人口減少、脱炭素、デジタル化など「新しい時代に挑みます」

《 4つの柱 》

- ① 少子化対策と子育て環境の充実
- ② 交通の利便性向上とまちの賑わい創出
- ③ 経済の活性化と雇用環境の整備
- ④ 安全・安心で持続可能なまちづくり



【全世代型防災教育】

- 2022(令和4)年度
 - ・第8回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)「準グランプリ 二階俊博国土強靱化提唱者賞」受賞
 - ・「令和4年度優良青少年団体及び青少年知事表彰」受賞
 - ・CityNet「SDGsアワード」受賞
 - ・令和4年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」優秀賞(中学生部門)受賞

- 2024(令和6)年度
 - ・令和6年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」「はばタン賞」受賞
- 2025(令和7)年度
 - ・第11回ジャパン・レジリエンス・アワード「内閣総理大臣賞」受賞
 - ・令和7年度1.17防災未来賞「ぼうさい甲子園」「ぼうさい大賞(高校生部門)」受賞
 - ・第30回防災まちづくり大賞「日本防火・防災協会会長賞」受賞

